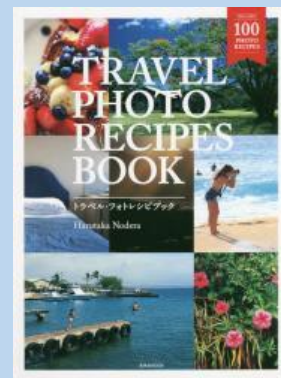


～おすすめ本の紹介～

旅行

旅の準備、旅行に役立つスマホ術、旅行先での写真の撮り方、旅行のための3冊集めてみました。ステキな旅行をどうぞ。



はじめての海外旅行まるごと安心ブック

ワイフネット/著 メイツ出版 290.9/11/15

旅の計画から準備、出発から帰国まで、現地で困らないための基礎知識、トラブル対処法など、旅行をしっかりと楽しむための100のポイントを紹介します。はじめての方だけでなく、リピーターの方にもおすすめのマニュアル本です。

海外旅行に役立つスマホ術

戸田覚&アバンギャルド/執筆・監修 日経BP社 290.9/力/13

スマホを活用して、海外旅行を快適に！旅行前の準備から、旅行中の活用法、地図や翻訳といったアプリの使い方、現地での情報収集、旅行を楽しく過ごせるノウハウが盛りだくさん。帰国後の写真や動画の整理・編集まで、さまざまなスマホ活用法を紹介しています。スマホを上手に使いこなして、海外旅行に役立てましょう。

トラベル・フォトレシピブック

野寺治孝/著 玄光社 743/ト/18

「日常のしがらみから解放された自由な感性で、その場所を記録するのが『最高の旅写真』です。」カメラマンである著者の言葉です。普通の旅行記念写真ではなく、個性あふれる旅写真レシピ100集。写真集として見るだけでもステキな1冊です。あなただけの個性的な写真を撮りましょう！

展示図書

平成のアニメ

期間：12/11～1/9

場所：図書館3階

- ・ ディズニー
- ・ ジブリ
- ・ 化物語他



製作現場の話



2019年は年号が新しく変わり、平成という時代も幕を閉じようとしています。サブカルチャーからポップカルチャーへと進化した、「平成のアニメ」をテーマに、ディズニー、ジブリ、小説原作アニメ、製作現場を書いた本などを紹介します！

袋の中身は
なんだろうな♪

本の福袋

数量
限定

クリスマスに合わせて、本の福袋を貸出します。どんな本が入っているかは開けてからの楽しみ！普段は手に取らないような本との出会いがあるかも!?

期間:12/15～12/24

場所:図書館3階児童コーナー

年始もやります!



亥



おねがい

- 図書館では静かにしましょう
- 返却日を守りましょう
- 本はやさしく扱きましょう
- 落書きや切り取りをしないで!

春日井市図書館
〒486-0844 春日井市鳥居松町5丁目44番地
電話:(0568)85-6800
開館時間:午前9時～午後8時
休館日:月曜日(休日の場合はその直後の休日でない日)

お鍋

気づけば、日が暮れるのが早くなり、寒くなってきたなあと感じる今日この頃。同時に、あっ、あの季節がきたなと小躍りしてしまうのは私だけでしょうか。寒い季節に鍋料理はいいけれど、毎年マンネリ化してしまうと嘆くあなたに、おすすめの3冊を召し上げられ。



おでんのまるかじり

東海林 さだお / 著 朝日出版 596/オ/06

食エッセーの王道といえば、東海林さだお氏の丸かじりシリーズである。そして、冬の王道といえば、おでんである。本書はこの二つを兼ね備えた最強タッグの1冊である。おでんの具ほど難物なものはないと著者は言う。何から食べるのか、どう食べるのか。あつあつの袋ものの攻略方法を、果たして東海林氏は明かしてくれるのか、必読の価値あり。この機会に丸かじりシリーズデビュー、決して遅くはありません。ちなみにおでんは鍋のうち、ね。

ぐつぐつ、お鍋

阿川 佐和子 / ほか著 河出書房新社 914.6/14

お鍋にまつわるアンソロジー本といえば、この1冊。本書には、無頼派といわれる作家から現代人気作家まで登場し、それぞれの鍋との向き合い方の多種多様さに驚かされる。えっ、こんなものを鍋に? というものや、やっぱり鍋は定番に限ると思わず頷いてしまう話もあり、読み進めていくとおなかが空き、読み終わる頃には満腹になりそうである。気がつけば、体がほかほか、お口をはらはら、眼鏡まで曇ってしまいそうである。読むだけでたくさんの鍋が味わえる贅沢な一品である。

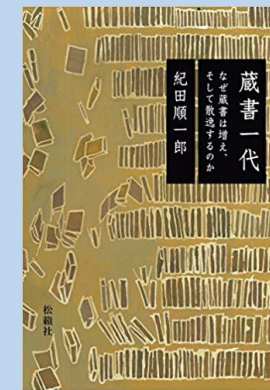
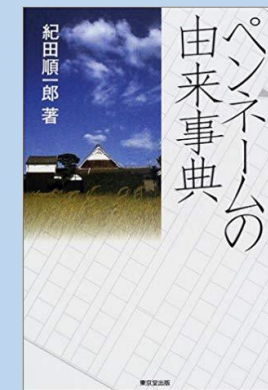
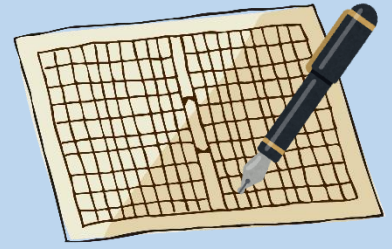
そうだ、今日も鍋にしよう!

藤井 恵 / 著 講談社 596/リ/09

数ある鍋レシピ本から1冊。本書は手ごろなサイズで薄めだが、侮ることなかれ。これで十分なのである。和風、洋風、中華に、時々エスニックテイスト、一見シンプルだが、見れば見るほど、空腹を満たすために、チャレンジしてみようという気さえ起こさせてくれるのである。お肉がない日も、お野菜が少なくても、ラクしておいしく、センスもピカイチ。鍋の奥深さ、手軽さを再認識できる内容である。今年の冬は、これでみんな幸せほっかほか。

紀田順一郎

紀田順一郎さんは日本を代表する評論家です。他にも出版や書誌に関する研究、翻訳やエッセイ、ミステリー小説など数多くの著書を執筆しています。春日井市図書館にも70タイトルを超える蔵書があります。難しい話だけではなく、読んで楽しいものもあり、そんな一冊を見つけるとうれしくなります。では、そんな中でみつけた三冊を紹介したいと思います。



ペンネームの由来事典

紀田 順一郎 / 著 東京堂出版 910.26/へ/01

明治～近代の作家の筆名・号・ペンネームの由来を中心に、その生い立ちや作品の内容などが記された一冊。膨大な資料を要する、紀田さんならではの著書です。響きの美しい名前がたくさんあって楽しいです。

ちなみに「角田浩々歌客」「宮武外骨」「埴谷雄高」はどう読むのか分かりますか?

答え：かくだこうこうかきゃく、みやたけ がいこつ、はにや ゆたか

蔵書一代 なぜ蔵書は増え、そして散逸するのか

紀田 順一郎 / 著 松籟社 024.9/ソ/17

紀田さんの仕事柄、増え続ける愛蔵書は、やがて住まいをも圧迫していき、とうとう身を切る想いで三万冊を手放すことを決心します。

その顛末と日本における蔵書維持の困難性を論じています。ここまではないにしろ、自分の部屋に積み上げられていく本を、どうしようかと思ったことはあるのでは……。

世界幻想文学大系

紀田 順一郎 / 責任編集, 荒俣 宏 / 責任編集 国書刊行会 908/セ/98

1976年より、国書刊行会から出版された、ヨーロッパ・アメリカの幻想文学叢書。紀田さんは責任編集をしています。当時どこの出版社に持ち込んで断られた企画でしたが、国書刊行会が「おもしろい!」と鶴の一声で出版を決めた話は有名です。春日井市図書館には25巻分を所蔵。手の込んだ装丁の美しい本です。